



東北地方在住1,031人の声をもとに決定！ 『じゃらん』人気観光地 満足度ランキング2022【東北】 調査結果発表

もう一度行きたい観光地、1位は宮城県「秋保」が獲得

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が発行する旅行情報誌『関東・東北じゃらん』（編集長：西 尚子）は、東北在住1,031人を対象に東北エリアの観光地に関するアンケートを実施しましたので、その結果をご報告します。※結果の一部は、2022年7月1日（金）発売の『関東・東北じゃらん』8月号でも紹介します。

調査トピックス

■ 『じゃらん』人気観光地 満足度ランキング2022【東北】

2021年に宿泊旅行で訪れたことがある「もう一度行きたい観光地」（※宿泊訪問者ベース）
近場旅の目的地として再注目され、新たな魅力を打ち出しているエリアが多くラインクイン

順位	観光地名	県名	%
1	秋保	宮城県	66.1
2	鶴岡・湯野浜・あつみ	山形県	65.4
3	松島	宮城県	60.6
4	鳴子	宮城県	59.8
5	花巻	岩手県	58.3

■ 『じゃらん』今後行ってみたい観光地【東北】

2021年に訪れたことがない「今後行ってみたい観光地」（※非訪問者ベース）
四季折々の豊富な自然を体験できる奥入瀬溪流・十和田湖が1位に

順位	観光地名	県名	%
1	奥入瀬溪流・十和田湖	青森県	18.5
2	秋保	宮城県	15.3
2	銀山	山形県	15.3

※おでかけの際には、自治体のホームページなどで最新の情報をご確認ください。また、新型コロナウイルス感染症の拡大の防止に十分ご配慮いただくようお願いいたします

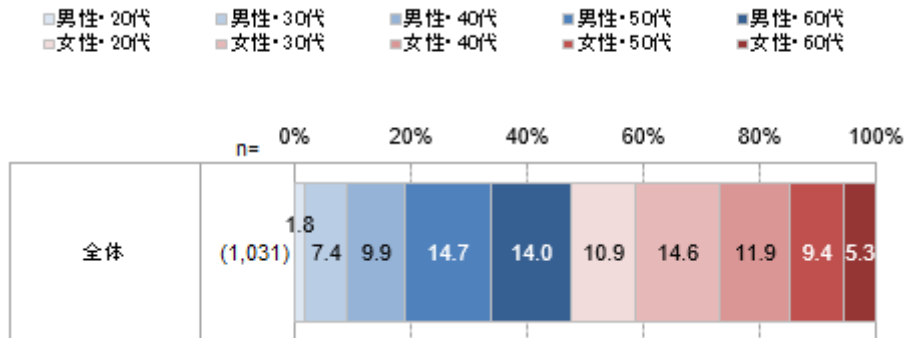
本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

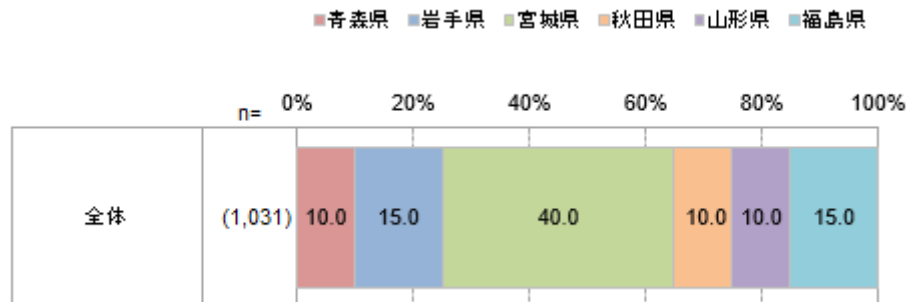
【調査概要】

- ◎調査時期：2022年2月9日(水)～2022年2月11日(金)
- ◎調査対象：東北地方（青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県）の20-69歳男女
- ◎調査対象観光地：P5参照
- ◎調査方法：インターネット上でのアンケートを実施
- ◎回収数(有効回答数)：1,031
- ◎調査委託先：マクロミル

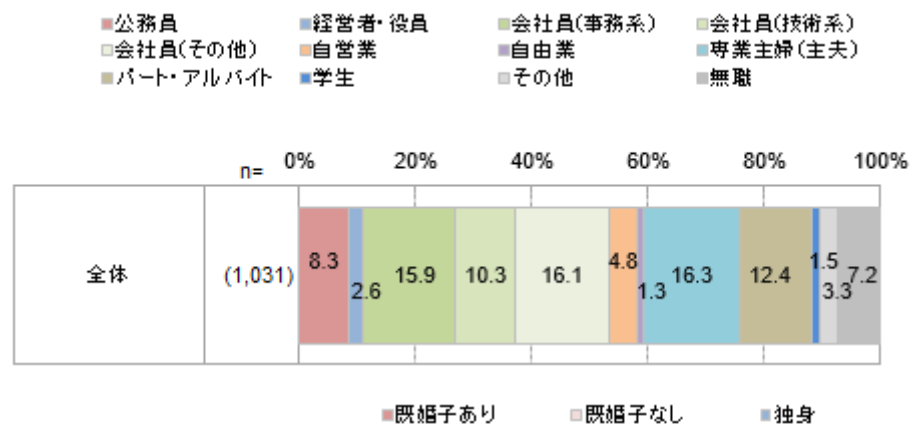
■性別×年齢



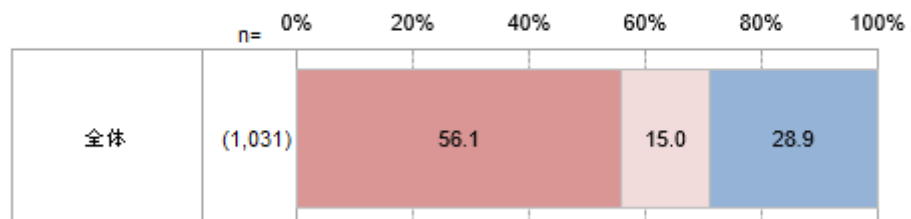
■居住地



■職業



■ライフステージ



※少数2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

過去1年間に宿泊旅行で訪れたことがある観光地で「もう一度行きたい」と思う場所を聞いたところ、「秋保」（宮城県）が1位、2位に「鶴岡・湯野浜・あつみ」（山形県）、3位に「松島」（宮城県）がランクイン。東北を代表する有名観光地が上位を占め、いずれも近場旅の目的地としても再注目を集めるエリア。仙台市街地からアクセス良好な「秋保」と「松島」は、新名所も増えて滞在の楽しみが増加中。「鶴岡・湯野浜・あつみ」は、温泉や景観に加え、日本で最初にユネスコ食文化創造都市の認定を受けており、食文化の魅力がリピート意向につながっているようです。

■ 『じゃらん』人気観光地 満足度ランキング2022【東北】

2021年に宿泊旅行で訪れたことがある観光地の中から「もう一度行きたい」と思う観光地を集計。
（宿泊訪問者ベース）

順位	観光地名	県名	%
1	秋保	宮城県	66.1
2	鶴岡・湯野浜・あつみ	山形県	65.4
3	松島	宮城県	60.6
4	鳴子	宮城県	59.8
5	花巻	岩手県	58.3
6	奥入瀬溪流・十和田湖	青森県	57.9
7	仙台	宮城県	57.6
8	安比高原	岩手県	56.9
9	松尾八幡平	岩手県	56.8
10	いわき	福島県	54.8
11	男鹿半島	秋田県	53.8
12	田沢湖・角館	秋田県	53.3
13	気仙沼	宮城県	53.1
14	会津若松	福島県	53.0
15	米沢	山形県	52.8
16	酒田	山形県	52.4
17	雫石・つなぎ・鶯宿	岩手県	52.2
18	裏磐梯（五色沼・磐梯高原）	福島県	51.4
19	福島市・飯坂・土湯・高湯	福島県	51.1
20	蔵王・遠刈田	宮城県	50.6

※過去1年間に各観光地を宿泊旅行で訪れた人の「もう一度行きたい」割合（各エリア単一回答／来訪者が30人未満の観光地は除外）

「今後行ってみたい」観光地では、豊かな自然を体験できる「奥入瀬溪流・十和田湖」（青森県）が1位、2位は仙台の奥座敷「秋保」（宮城県）、3位には世界的にも人気の「銀山」（山形県）がランクイン。東北を代表する観光地であり、近年新たな魅力を打ち出しているエリアであることから再来訪への意欲や憧れ感が高まっています。観光の拠点となる市街地も人気で、仙台は周辺観光エリアへのアクセスも良く、東北旅行を充実させる起点として選ばれています。

■ 『じゃらん』今後行ってみたい観光地ランキング【東北】

2021年に訪れたことがない観光地の中から「今後行ってみたい」と思う観光地を集計。
（非訪問者ベース）

順位	観光地名	県名	%
1	奥入瀬溪流・十和田湖	青森県	18.5
2	秋保	宮城県	15.3
2	銀山	山形県	15.3
4	松島	宮城県	11.1
5	仙台	宮城県	9.7

※過去1年間に各観光地を訪れたことがない人の「今後行ってみたい」割合（各エリア単一回答）

※ランキングをご紹介いただく際は、必ず下記クレジットを記載してください。

「じゃらん 人気観光地 満足度ランキング2022【東北】」

「じゃらん 今度行ってみたい観光地ランキング2022【東北】」

■ 『関東・東北じゃらん』2022年8月号：媒体概要

人気観光地 満足度ランキングの発表をはじめ、涼を感じる絶景や温泉、グルメ情報まで、夏のお出かけを楽しむプランが盛りだくさん！夏をおもいきり満喫できる特大号です。

[発売日] 2022年7月1日（金）発売

[仕様] A4変形サイズ 天地286ミリ×左右210ミリ右開き

[特別価格] 690円（税込）

[販売] 書店、コンビニエンスストア、スーパー、インターネット販売、定期購読など



都道府県	観光地	都道府県	観光地
青森県	下北半島	秋田県	白神山地（秋田県側：田苗代湿原など）
	青森市・浅虫		男鹿半島
	八甲田		阿仁・森吉山
	津軽半島		田沢湖・角館
	弘前		大仙・大曲
	八戸		鹿角八幡平
	三沢		大館
	奥入瀬溪流・十和田湖		秋田市
	津軽西海岸（五能線・深浦・鱒ヶ沢など）		鳥海山
	白神山地（青森県側：十二湖など）		栗駒山（秋田）
岩手県	久慈	山形県	横手・十文字・湯沢
	岩泉（龍泉洞）		山形市
	宮古		上山
	釜石		天童
	大船渡・陸前高田		寒河江・月山
	安比高原		東根・村山
	松尾八幡平		鶴岡・湯野浜・あつみ
	二戸		酒田
	雫石・つなぎ・鶯宿		新庄・最上・肘折
	盛岡		山形蔵王
	花巻		銀山
	遠野		南陽・赤湯・高畠
	北上・湯田		米沢
	奥州・水沢・江刺		長井
	平泉・一関		小国
	宮城県		仙台
秋保		郡山・須賀川	
作並		磐梯熱海	
松島		白河・羽鳥湖	
塩竈		二本松・岳	
石巻・田代島・牡鹿・女川		相馬	
気仙沼		南相馬	
栗原・登米		いわき	
名取・岩沼		猪苗代・表磐梯	
白石		裏磐梯（五色沼・磐梯高原）	
蔵王・遠刈田		会津若松	
亘理・山元		喜多方	
鳴子		柳津・西会津	
		会津高原・湯野上・南会津	
	檜枝岐・尾瀬		
	奥会津		
	棚倉・東白川		
	田村・三春		

※『じゃらんnet』で設定しているエリア区分のうち小エリア区分をベースに、隔月刊『じゃらん』で紹介する観光地エリア区分と照らし合わせ、観光スポットがあるエリアを中心に設定。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>